

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		環境園芸学科
科目名称 [英語名称]	環境調査及び再生論 [Theory and Field Investigation for Environmental Remediation]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	○
科目コード	710063	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	3年次
教員氏名	中野 光謙			学位授与の方針 との関連	DP2(1)		
授業概要	<p>本授業の目的は学生達が、自然環境の保全・再生に有効な技術と政策、および環境調査の方法を具体的に理解し、個々の現場で臨機応変に対策を立てられるようになることです。</p> <p>本授業では、損なわれた自然(生物多様性や生態系)を回復させることを目的とした自然再生事業に着目し、自然再生事業の計画作成から事後評価までの一連の流れを解説します。また、事業の一環として行われているモニタリング調査についても詳しく解説します。なお、個々の現場で臨機応変に自然再生事業を実施する思考力を養うために、事例分析を多数行います。</p>						
関連する科目	水辺環境論、環境緑地論、ピオトープ論、環境緑地論実習、水辺環境論実習						
授業の進め方と方法	授業の前半は講義を聞きながらワークシートに取り組みます【知識・理解の獲得】。後半は、小テストや課題に取り組み、前半の学びを発展させます【汎用的技能の育成】。						
授業計画	<p>第1回 概論 第2回 自然再生に関する制度 第3回 自然再生事業の対象、基本認識、原則 第4回 順応的管理と合意形成 自然再生事業の基本的な考え方や流れ、関係する法律等について学びます。</p> <p>第5回 河川・湿原における自然再生事業(1)概論 第6回 河川・湿原における自然再生事業(2)事例分析 第7回 湖沼における自然再生事業(1)概論 第8回 湖沼における自然再生事業(2)事例分析 第9回 水田地帯における自然再生事業(1)概論 第10回 水田地帯における自然再生事業(2)事例分析 第11回 水田地帯における自然再生事業(3)事例分析 第12回 森林・草原における自然再生事業(1)概論 第13回 森林・草原における自然再生事業(2)事例分析 第14回 海域における自然再生事業 第15回 都市における自然再生事業 全国の様々なフィールドにおける自然再生事業の事例について学び、現場で通用する応用力をつけます。</p>						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自然環境と生態系の保全・再生に必要な生態学的な知識を獲得する【知識・理解の獲得】。</li> <li>2. 自然環境を対象としたモニタリング調査を計画・実施するために必要な知識を獲得する【知識・理解の獲得】。</li> <li>3. 個々の現場で臨機応変に自然再生事業を遂行するための思考力を養います【汎用的技能の育成】。</li> </ol>						
授業時間外の学修	予習は必要に応じて授業中に指示します。復習については、毎回の授業後に20～30分間程度、各自でノートと小テストを再確認してください。						
課題に対するフィードバック	小テストと課題は評価後返却し、解説します。	評価方法		提出物(ワークシート、小テスト、課題等)100%で評価します。ただし、出席すべき日数の3分の2以上の回に出席することは要件です。			
テキスト	なし						
参考書	『自然再生ハンドブック』日本生態学会 編(地人書館)『自然再生への挑戦—応用生態工学の視点から』廣瀬利雄ほか 著(学報社)『水田生態工学入門』水谷正一 編(農文協)『改訂6版 環境社会検定試験?eco検定公式テキスト』東京商工会議所 編著(日本能率協会マネジメントセンター)						
備考							